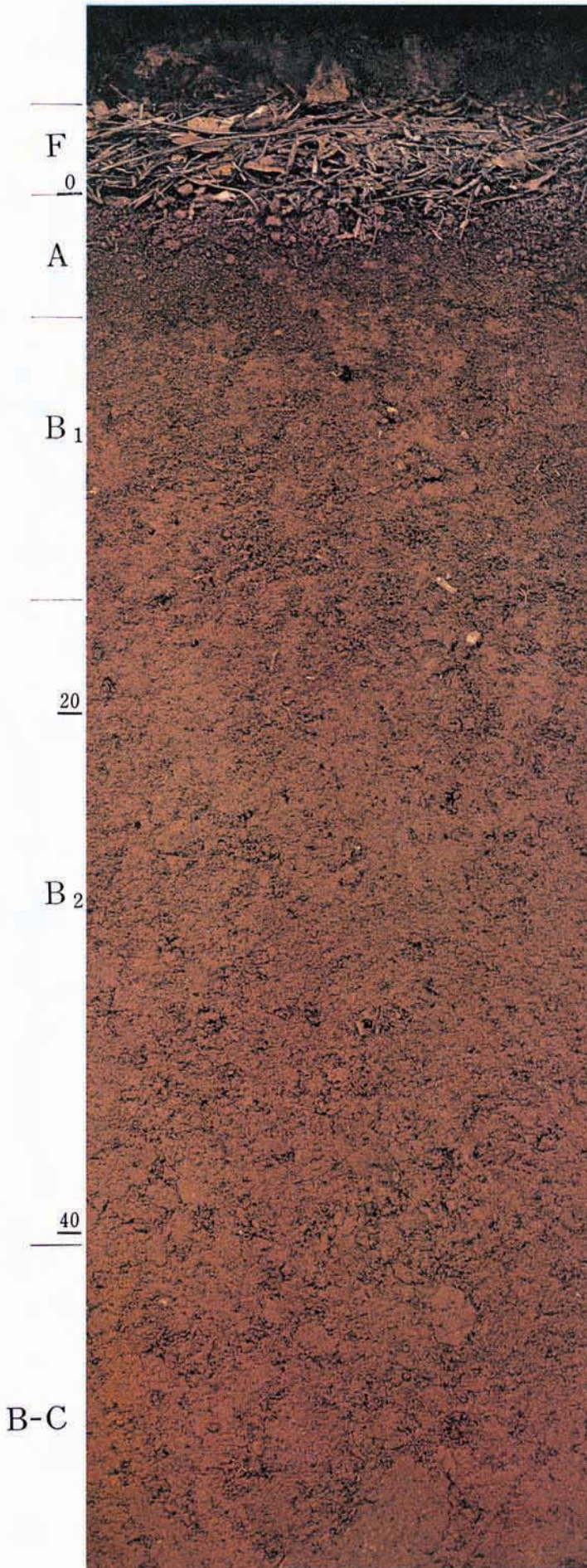


断面 24

暗赤色土壌 その1



母材料：安山岩熔岩

採取地：静岡県熱海市 平塚事業区25林班ろ小班

海拔高：370 m

地 形：張り出した尾根の肩

方 位：N 38° W

傾 斜：35°

林 相：ヒノキ人工林（ヒノキ・コナラ・コアジ
サイ・キイチゴ・コウヤボウキ）

断面記載：

- F 1.5 cm アカマツ、ヒノキ、コナラ等の腐葉が粗に堆積，乾。
- A 4 cm 暗赤褐色 (2.5 YR $\frac{3}{2}$)，腐植を含む，風化細礫あり，壤土，粒状，一部に細粒状，軟，潤，細根多し，次層との境界は明。
- B₁ 12 cm 暗赤褐色 (10 R $\frac{3}{2.5}$)，腐植を含む，風化細礫あり，壤土，やや粒状および塊状，弱度，堅，潤，細根多し，次層との境界は漸。
- B₂ 17~25 cm 暗赤褐色 (10 R $\frac{3}{3}$)，腐植に乏し，風化細礫あり，埴質壤土，構造なし，堅，潤，細根あり，次層との境界は判。
- B-C 20 cm + 暗赤褐~暗赤色 (10 R $\frac{3}{3.5}$)，腐植に乏し，風化小礫に富む，埴質壤土，構造なし，堅，湿，中・細根まれ。

採取年月日：1965年6月26日

日本各地の火山地域に局部的に分布が認められる。断面形態や理化学性は前掲の赤色土とかなりよく似ているが、生成的には全く別のもので、火山活動にともなう熱水作用によって、岩石が異常風化をした結果できたものである。したがって、その分布傾向は赤色土のように一定の法則性を示さないし、また、土色も一般に紫色味を帯びた暗赤色を呈するなどの相違がある。

有機物の滲透は比較的すくなく、A層は一般に浅い。構造の発達が悪く、断面全体が緊密でカベ状を呈することが多い。かなり強酸性で置換酸度も大きく、塩基に乏しい、比較的生産力の低い土壤である。土壌中にはアロフェンがきわめて多い。

マツ類、ヒノキなどの造林が可能であるが、褐色森林土よりも成長は劣る。



採取地の林相

層 位	C %	N %	C/N	pH (1:2.5)	置換酸度 Y ₁	C E C m.e	置 換 性		Ca/CEC	Mg/CEC
							Ca	Mg		
A	5.0	0.18	28	4.68	103.7	51.30	9.04	7.84	17.6	15.3
B ₁	2.5	0.10	25	4.60	135.5	48.08	6.40	7.18	13.3	14.9
B ₂	1.3	0.06	22	4.74	128.4	47.91	7.25	7.35	15.1	15.3

層 位	土壌中の細粒 (0.2~0.1 mm) の鉱物100分比				土壌中の粘土鉱物		
	熔岩碎片	長 石	輝 石	磁 鉄 鉱	ア ロ フ ェ ン	加水ハロイサイト ・ハロイサイト	14~15 Å 鉱 物
A	79.4	6.9	9.6	4.1	+++++	+	
B ₁	92.3	2.6	3.8	1.3	++++	++	+
B ₂	84.4	4.8	9.0	1.8	++	++	×